

No.204

2011年3月1日発行

目次

地域福祉活動紹介	2・3
ボランティアナビゲーション	4
地震に備えて	5
福祉サービス利用援助事業	6
善意銀行だより	7
お知らせ	8



社協だより

かこがわ

編集・発行 社会福祉法人 加古川市社会福祉協議会

好評です！「二俣の四季」カレンダー —二俣町内会ホームページより—



「パソコンを楽しもう会」は、町内の情報発信の役割を担っています。



平岡町二俣町内会では、普及してきたパソコンに着目し、平成18年4月からホームページを開設しています。町内の行事予定をはじめ、子ども会・婦人会・老人クラブなどの取り組みが一目でわかります。また、ゴミの日・天気予報・かこバスの時刻表など生活に役立つ情報の他、郷土の歴史も掲載されるなど、身近な情報が満載です。(URL <http://www.bb.banban.jp/futamata4141>)

「二俣の四季」カレンダーもホームページで紹介されています。このカレンダーは、老人クラブの「パソコンを楽しもう会」が、町内の四季折々の写真を集めて編集されたそうです。紙面の都合上すべての写真を掲載できませんが、卓上用も作成され、一枚一枚に“ふるさと二俣”を感じます。



人・地域とのつながりを大切にしたい

「ふれあいいきいきサロン」の役割

— 支え合い・助け合う地域づくりをめざして —

地域には高齢になり家に閉じこもりがちの人や、今までの交流が続けられなくなった人など、生活に寂しさや不安を抱えている人がいます。介護保険などの公的サービスだけで、社会とのつながりを再生したり、寂しさを解消することは難しい状況です。

社会福祉協議会では、住民が主体となって、お互いにつながりを持てる地域場の場づくりをめざしています。そして、10年前から「ふれあいいきいきサロン」活動を地域のみなさんに呼びかけ、支援してきました。この間、地域や参加者の状況に合わせて形態を変えながら各地で広がり、今では市内200カ所近くの地域で運営されています。今回は、一昨年に立ち上げられた3カ所のいきいきサロンを訪ねました。

「なかよし喫茶」が憩いの場になりました

神野町西之山
世帯数:102世帯
人口:約300人

日岡山のふもとに位置する西之山では、かつて、田んぼや畑仕事を通じて、住民同士がふれあう場がごく自然にありました。しかし、ライフスタイルが変わり、高齢化が進んだことで住民の交流機会は減ってしまいました。そこで、月1回民生委員を中心とした有志で『なかよし喫茶』を開き、住民交流の場を提供しています。

喫茶型のサロンの多くは、その日のプログラムはなく、参加者が自由におしゃべりをして、お茶を楽しんでいます。『なかよし喫茶』でも午前9時30分から午後2時の間は自由に出入りできるそうです。



さりげなく飾られたテーブル花にも心がなごみます。



モーニングセット
200円也



毎回60人程度の参加があり、200円でモーニングセットが食べられるため、特にお昼前は混雑するそうです。厨房は大忙しですが、スタッフの手際の良さには驚かされました。

常連さんの話では、「100世帯余りの西之山町内会では、ここに来るほとんどの人が顔見知り。初めての人が来られてもすぐに顔なじみになれるので楽しいですよ」と語ってくれました。また「年齢に関係なく参加できるので、世代間交流の場になればいいのに」という声も聞かれました。

ある調査では「住民同士の交流が必要だが、きっかけがない」と感じている人が多いようですが、『なかよし喫茶』のように住民がふれあうきっかけは、案外身近にあるのかも知れません。

社会福祉協議会は「ふれあいいきいきサロン」を応援します！

魅力あるサロンづくりのために・・・

活動者の交流会や情報交換の場を設けます
専門職の協力を得るための調整をします
魅力あるサロンづくりを一緒に考えます
立ち上げ時に運営費の一部を助成します

これからはじめてみよう! というみなさんへ・・・

サロンの意義や活動内容、開設に向けた準備などの相談に応じます
既実践されているサロンの見学を調整します
参加者・活動者の保険について、紹介や加入の手続きをお手伝いします

いきいきサロンから地域の活性化へ

新神野8丁目
世帯数:172世帯
人口:約460人

新神野8丁目町内会には、65歳以上の人200人近くいます。一人暮らしの人が増え、高齢化も進む一方で老人クラブもなく、近い将来、地域との関係が持たなくなる人が増えてくるのが懸念されていました。

そんな中、一昨年12月に民生委員が中心になって、サロンの準備会を開きました。町内会役員・隣保長・民生協力員のほか、社協や地域包括支援センター職員も加わり、どんな事をすれば地域が活性化できるかを熱心に話し合いました。その結果「8丁目いきいきサロン」が生まれました。



「唱歌かるた取り」では懐かしい歌がよみがえりました。



この日の発表者 湊川良江さんは、趣味の手芸について話されました。会場には作品も展示され、他の参加者は興味津々でした。

住民みんなで運営するスタンスは今も変わっていません。保健師の血圧測定や健康講話・レクリエーションのほか、のんびり話せる茶話会も実施していますが、「8丁目いきいきサロン」の特徴は、毎回交代で参加者の体験発表や趣味を紹介する時間を持っていることです。ありのままの自分を披露することで、お互いに新たな魅力を発見できるそうです。

サロンによっては、お世話する側(スタッフ)の負担が大きくなり、衰退してしまうところもあります。しかし、ここでは、お世話する側・される側の垣根はなく、みんなが積極的に参加していました。

8丁目いきいきサロンの取り組みは、特別なことをしなくても、みんなが普段していることを披露したり、顔をみせてくれるだけで地域の活性化につながることを教えてくれました。

住民同士のつながりで孤独感の解消を

野口町鳥が岡
世帯数:400世帯
人口:約1,000人

鳥が岡町内会は、古くから老人クラブも結成され、現在も活発に活動しています。しかし、約40年前にできた同町内会では、高齢化が進み、世帯の半数が一人暮らしです。さらに体力的に外出が困難な人や家に閉じこもりがちの人たちが増えている現状から、老人クラブの活動だけでなく、有志により、友愛クラブを立ち上げました。

友愛クラブの目的は、地域の人が気軽に集えて孤独感を解消するために「ふれあい友愛サロン」を開設し、住民同士のつながりをつくることです。

毎月第3木曜日、サロン会場の鳥が岡自治会館には早くから参加者が集まってきました。入口に置いている友愛基金箱に参加費100円を入れていただきます。社協からの助成と合わせて貴重な運営資金になっています。「頭の体操クイズ」や「運動ゲーム」など、その日のプログラムは前もって参加者から希望を聞いて決めています。

また、傘踊りや皿回しは近くの幼稚園や小学校との交流の場で一緒に楽しめるように、みんなで練習するそうです。地域にはいろんな特技を持った人がいるようです。

スタッフの一人、和田さんも高齢者です。「ここにすら来ることができない人に、どう声かけしていくかという課題もありますが、このサロンが家族を介護している人の息抜きの場であったり、一人暮らしの人の楽しみ場の場である以上、これからも力を合わせて続けていきます」と語ってくれました。



恒例の皿回しの練習。皿を落とさないように集中することは老化予防にもなるそうです。

No. 51 ボランティアナビゲーション

—松風会— ～地震への備え 命を守る家具固定～

阪神・淡路大震災から16年が過ぎました。兵庫県南部を襲った直下型地震は、震度7を記録し、負傷者は4万3千人を数えました。そのなかには建物に大きな被害がないに関わらず、家具の転倒や散乱によって、ケガをした方も多数含まれています。これは、室内に家電製品を多く置くようになった近年の住宅事情が一因であると言われています。

ボランティアグループ「松風会」は、兵庫県の「ひょうご安全の日推進事業」の助成を受け、NPO法人安心安全のまちづくり機構と協働で、別府地区の町内会・民生委員・消防団などの各種団体と室内安全対策方法の学習会を開催しました。その後、地域の高齢者世帯や独居世帯に家具固定の器具を取り付けました。

「家具の固定は、建築のプロにしてもらう方法もあるが、他人に家の中を見られたくないという抵抗感もあると思う。まず、地域や近所で声をかけあって、(人と人との)つながりの中で、信頼関係を築くことが第一歩。市内各地で地域のつながりを構築した上で、家具固定を実施したい。」と語る松風会の播本代表。

加古川から発信される「新たな防災への取り組み」に、今後の展開が注目されます。



映像や器具を使っでの学習会を開催。



転倒防止器具の取付方法を学びます。



いざという時の取り組みについて話し合っています。



西條遊児さん(左から3人目)を囲んで松風会のみなさん。



松風会

「わかば学園」「ゆうかり園」など、福祉施設の支援活動。「松風公園」定例清掃活動、障がい者(児)支援事業「しおかぜ遊ing」、水辺環境事業の他、地域ニーズに対応した活動を展開。災害復旧ボランティア活動にも、積極的に参加している。ボランティアセンター登録グループ。
平成元年10月発足。

NPO法人 安心安全のまちづくり機構

安心・安全で環境にやさしく、明るく元気で文化的な暮らしづくりやまちづくり及び自給自足の地域社会の実現を目指し、広く公益に寄与することを目的に設立されたNPO法人。

問合せ・申込先 **加古川市ボランティアセンター**
〒675-8577 加古川市加古川町寺家町177-12 総合福祉会館内
電話 **079(424)4318(代)** FAX **079(425)4711**
E-mail kakogawa-vc@kakogawa-shakyo.jp
URL <http://www.kakogawa-shakyo.jp>



災害時になれば“地域の絆が大切”

16年前、県内で阪神・淡路大震災によって直接死亡した人のうち、建物が壊れ、圧死・窒息死した人は73%で、他にも火災による死亡者もありました。さらに、ライフラインが止まった過酷な環境のため、健康を維持するのも困難な状況でした。自宅を離れ、避難所暮らしになった場合にはなおさらです。では、このような時でも無事に過ごすためには、どんな準備や対策が必要なのでしょうか。

防災グッズの用意

家族との話し合い

連絡方法の確認

近隣の住民と助け合える関係づくり

阪神淡路大震災で倒壊家屋の下に閉じ込められた住民のほとんどは、家族や近くに住む人たちによる救助活動によって助け出されました。大災害が発生すると公的機関が機能するまでには時間がかかります。一刻を争う救助活動は民間に頼ることしかできないということを頭に入れておきましょう。

“非常時に人が生き残るためには、なにより普段の人間関係が最も大切な事です。”

寝室の安全を確保しよう

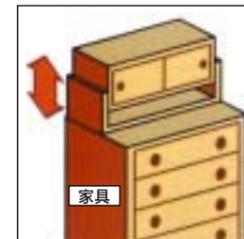
津波被害を除いて、地震災害で最も怖いのは倒壊する家屋と家具による圧死です。逆に言えばこの被害さえ回避できれば地震被害を受ける可能性は非常に低くなります。

もちろん安全な家屋に住むことが優先ですが、今日からでもできる準備としては、まずは寝室に重量のある家具を置かないこと。

そしてどうしても他に移動できない場合は、家具を固定すること。固定具をつけられない場合は天井との隙間を「すき間家具」などで埋めてしまえば、就寝中に地震が起きて被害の可能性は低くなります。

ライフラインが止まると深刻な状況になりますので簡易トイレなどの準備はしておきましょう。

上下式ユニット



高さを調節しながら、天井と家具を支える「すき間家具」

突っ張り棒タイプ



突っ張り棒タイプのものを利用するには、天井に家具を支えるだけの耐力が無いと危険。また、しっかりした天井の場合でも、天井とのすき間が少なく奥行きのある家具でない、大きな効果は期待できない。

非常持ち出し袋の参考例

地震や台風、大津波などの自然災害に備えて、避難する時と、避難した後に、自分と家族の命をつなげるものです。

以下が「一次持ち出し品」として参考にしてください。

- 飲料水(500mlペットボトル数本) 非常食(菓子類、ゼリー状の食品)
- 医薬品(消毒薬、三角巾、胃薬、解熱薬など) 簡易食器セット(家族分)
- 衣類(防寒具)懐中電灯 携帯ラジオ 電池 貴重品(現金、通帳、印鑑など)
- ローソク マッチ ライター ロープ ビニールシート 雨具
- ナイフ ハサミ タオル(大小) 洗面道具(旅行用で可) ウェットティッシュ ビニール袋
- 携帯電話 筆記具 など



住みなれた地域で暮らし続けるために

福祉サービス利用援助事業で応援します!

高齢者支援の事例から

Aさん(82歳男性)は、一人暮らしをしていましたが、認知症が急に進行し、自分で通帳から出金することも、買い物や調理、食事さえも満足にできなくなりました。民生委員が異変に気付き、必要な支援が受けられるように地域包括支援センターに連絡しました。すぐにホームヘルプサービスを受ける手続きが進み、買い物や食事の支援を受けたので体調は戻りましたが、金銭の管理に不安があり、社会福祉協議会(以下、社協)に相談が寄せられました。

① 初回訪問

最初に生活費の出入金を手伝う「福祉サービス利用援助事業」を説明しました。Aさんは日常生活のための出金ができずに困っていたため、「利用しますか」と聞くと、すぐに「うん」とうなずき、意思確認ができました。

遠方の娘さんにも連絡すると「家族と一緒に暮らせたらいと思うのだけど、家の事情で父を引き取れない。父のことが心配なので、生活費の管理を手伝ってもらおうと助かります」と言われたので、早速、利用手続きを進めることにしました。



Aさんと生活支援員が郵便物を確認中

契約と支援内容

数回の訪問後、娘さんや地域包括支援センター、ケアマネージャーなど関係者を交え、福祉サービス利用援助事業の契約を交わし、日常生活に関する通帳と銀行印を預かりました。

社協の生活支援員が2週間に1回、生活費を金融機関で出金して、自宅に届けることや、ヘルプサービスやデイサービスなどの介護サービス利用料の支払いを支援することにしました。

金銭管理の開始

ヘルパーの家事援助の日に合わせて訪問します。Aさんは、2週間分の生活費を渡すときちゃんと財布にしまうのですが、そのあと、「いくらやった?」と、今数えて手渡したお金について聞きます。

生活支援員は、もう一度数えてAさんが納得するまで、丁寧に対応しています。

このように、判断力の低下した人が住みなれた地域で暮らし続けるためには、何かの援助が必要です。福祉サービス利用援助事業では、単に金銭を管理するだけでなく、さまざまな福祉サービス関係者と連携して援助をしています。詳細は社協までお問い合わせ下さい。

関係支援者との連携

支援が始まったばかりの時、ケアマネージャー・ヘルパー・本事業専門員・生活支援員など、色々な人が家に入りましたので、Aさんはすぐにはなじみませんでした。そのため、各支援者はAさんがなるべく混乱しないような接し方を互いに連絡を取り合いました。

その後も何か注意することがあれば、ケース会議をもつなど、情報の共有を心がけています。

最近のAさんは。。。

人と関わる機会を少しでも多くするため、Aさんは様々なサービスを利用しています。それが生活のリズムとなり、今ではデイサービスの皆さんとゲームをするほど精神的にも安定しています。

また、生活支援員を笑顔で迎えてくれるなど穏やかな毎日を送っています。

善意銀行だより

預託状況一覧(平成22年12月1日~平成23年1月31日取扱い分)

たくさんの善意を
ありがとうございました。

加古川市善意銀行

- 金銭の部 - 敬称略

氏名	金額(円)
尾上団地グランドゴルフ同好会	1,700
南粟津五月会	2,800
M . Y 生	2,000
中野喜人	10,000
国際ソロプチミスト加古川	100,000
匿名	1,500
いなみ野学園学生自治会	100,000
匿名	10,000
コープ神戸加古川コープ委員会	3,412
匿名	5,000
H . K	10,000
匿名	2,162
匿名	3,800
加古川友の会	17,150
安田博	5,000
加古中三三十一会	52,909
神吉コープ委員会	7,000
匿名	1,670
匿名	24,000
加古川坂本ダンス教室	20,000
匿名	10,000
匿名	1,000

氏名	金額(円)
播本翔	8,864
マックスパリュウ水足店	16,000
川柳ニューサロン	3,000
大西千加枝	10,630
U . N	3,000
加古川ラジオクラブ	20,000
M . Y 生	2,000
南粟津五月会	2,800
コカク友の会	1,596
ティエルブイ労働組合	22,800
日岡神社チャリティ甘酒大野会	150,000
加古川町美乃利シニアクラブ	3,500
匿名	5,000
森橋美智子	100,000
匿名	712
神吉十輪会	3,500
匿名	10,000
川柳ニューサロン	3,000
加古川商工会議所女性会	209,971
加古川観光協会	6,519
森本雅二	5,000
U . N	3,000

氏名	金額(円)
加古川市老人大学院 コーラスクラブ	10,000
加古川市老人大学院 茶道部	4,500
東加古川公民館 登録団体連絡協議会	63,055
社会教育団体社団法人倫理 研究所志方支部	5,000
バーガーシティ山手店 お客様	2,921
富久の会 (老人大学院29回生1組)	3,435
大國団地朗友会 グランドゴルフ同好会	2,034
野口町野口老人クラブ グランドゴルフ部	2,000
株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所	1,000,000
ふれあい喫茶 (坂井地区町内会)	5,000

小計
H22.12.1~H23.1.31 (54件)
2,079,940円
平成22年度累計 (146件)
4,334,711円

善意銀行への預託は、社会福祉協議会または民生児童委員さん宅で受け付けております。
問合せ先 社会福祉協議会「善意銀行」係 電話 079(424)4318(代)

ご協力ありがとうございました 歳末たすけあい運動

～みんなでささえあう あったかい地域づくり～



【平成22年12月28日現在】

今年度も、歳末たすけあい運動にご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。
みなさんからお寄せいただきました募金は、加古川市社会福祉協議会を通じて、「みんなでささえあう あったかい地域づくり」をすすめるために、活用させていただきます。
加古川市共同募金委員会

加古川市社会福祉協議会では、以下の事業を展開し、「みんなでささえあう あったかい地域づくり」をすすめています。

歳末たすけあい募金配分事業

在宅要介護者(世帯)への援助

加古川市内在住の、在宅ねたきり高齢者、在宅障がい者、聾学校在学者、要保護世帯の方を対象に、民生委員さんを通じてお見舞金をお届けしています。

「ふれあい・いきいきサロン」立ち上げ助成

地域において、高齢者や障がい者、子育て中の母子を対象に、ひきこもりや孤立を防ぐため、住民主体の地域に応じたサロンを開設していくための開設資金を助成しています。

小地域ネットワーク活動「愛育班」への活動助成

「お元気ですか」の声かけ運動をはじめ、毎月発行の愛育だより、健康相談や体操、高齢者へのお弁当づくりや子育て支援などを実施している「愛育班」への活動を助成しています。

老人クラブの「どないや訪問」への活動助成

高齢者が主体となって、地域の高齢者を見守り訪問する、老人クラブの友愛活動「どないや訪問」への助成をしています。

お知らせ

ボランティア研修会 参加者募集!

ボランティアセンターでは、一般の方も聴講できるボランティア研修会を開催します。

- と き** 3月14日(月)13:30~15:00
- と ころ** 加古川市総合福祉会館 2階 大ホール
- テーマ** **生き甲斐は自分の手で**
~古い人間だと思いでしょうが~
- 講 師** 落語家 しやうぶく てい 笑福亭 しや 松喬 氏
- 参加費** 無 料 **定 員** 300人(先着順)
- 申込方法** 加古川市ボランティアセンターへお申し込みください。
電話 079(424)4318(代)

駐車場に限りがありますので、電車・バス等でご来場ください。

プロフィール

古典落語に力を注ぐ実力派。派手さはないが重厚味あふれる芸風、じっくり聴かせるタイプの噺家である。

早くから、故六代目 笑福亭松鶴師匠より「笑福亭の噺を一番うまいこと受け継ぐ」と認められていた話は有名。落語以外の趣味も多彩で、特に絵と写真はアマチュアの域を出る腕前と言われている。



ボランティア活動保険のご案内

兵庫県ボランティア市民活動災害共済

- 対 象** 社会福祉協議会に登録された団体に所属するボランティア及び個人ボランティアなど
- 掛 金** 1人につき500円(年度内)
- 加入手続** 加入書類に加入者の掛金を添えて、総合福祉会館窓口でお申込みください。

兵庫県ボランティア活動等行事用保険

- 対 象** 行事主催団体に加入要件を満たしたボランティア・市民活動団体など
- 掛 金** 日帰りの場合……A1型 1人につき 50円(最低 20人以上)
A2型 1人につき207円(最低 20人以上)
宿泊を伴う場合…… B型 1人につき279円(1泊2日)~
- 加入手続** ・加入書類に必要事項をご記入の上、総合福祉会館窓口でお申込みください。
・掛金は所定の振込用紙でお振込みください。(行事实施の7日前まで)
- 問合せ** 補償額、保険についての詳細は、加古川市ボランティアセンターまでお問い合わせ下さい。



社会福祉協議会の相談窓口

みなさんの日頃の悩みや生活課題などの解決に向け、総合福祉会館で、各種相談窓口を開設しています。お気軽にご相談ください。
(但し、祝祭日は除く)

心配ごと相談

家族・財産などの生活上の悩み

と き 毎週水・木・金曜日 13:00~16:00

介護なんでも相談

家庭介護の知識や方法など

と き 毎月第1・3火曜日 13:00~15:00
要予約 電話 079(421)1811

生活援助相談

日常生活上でのさまざまな相談について

と き 毎週月~金曜日 9:00~17:00

ボランティア相談

ボランティアに関すること

職員による相談窓口

と き 毎週月~金曜日 9:00~17:00

ボランティアによる相談窓口

と き 第2火曜日 13:00~15:00

社会福祉法人 加古川市社会福祉協議会
〒675-8577 加古川市加古川町寺家町177-12
TEL 079(424)4318(代) FAX 079(425)4711
URL: <http://www.kakogawa-shakyo.jp>

住民基本台帳人口..... 268,138人(男性 131,625人/女性 136,513人)
年少人口(14歳まで)..... 39,439人(男児 20,209人/女児 19,230人)
高齢者人口(65歳以上)..... 54,694人(男性 24,483人/女性 30,211人)
高 齢 化 率.....20.40% H23.2.1現在